

eValue NS利用時のWebブラウザの設定について

eValue NS 2nd Editionが動作するサーバーへアクセスするクライアント端末では、下記の設定を行ってください。
※本資料はeValue NS Ver5.B0を基準に記載しています

1. 全クライアント端末に共通する基本要件

eValue NSを利用するための基本的な要件です。

1 - 1. 基本要件

| 要件 | |
|----------|---|
| プロキシサーバー | eValue NS へのアクセス時にはプロキシサーバーを経由しない。(プロキシサーバーを経由している場合は、経由しない設定へ変更する必要があります) ※プロキシサーバー経由でeValue NS を起動した場合、プロキシサーバーのキャッシュ機能により、正常にeValue NSの画面が遷移しない場合があります。 |
| 文字コード | 下記の文字コードを使用できるクライアント環境が前提です。 ※下記の文字コードに存在しない文字を取り扱うことはできません。 ※JIS 第一/第二水準以外の文字を使用すると、文字化けやエラーが発生することがありますので使用しないでください。 |
| | ドキュメント管理 画面表示時: UTF-8 / データベース保存時: Shift-JIS |
| | ワークフロー Shift-JIS |
| | スケジューラ/コミュニケーション UTF-8 (Webメール送信時はJISコードを使用) |
| ポート番号 | eValue NSサーバーへアクセスするために必要なポートは以下の通りです。 HTTP(80) / HTTPS(443) ※各ポート番号はサーバーの設定により変更されている場合があります。 ※HTTPSによる通信は、信頼された証明機関より発行された証明書が必要です。 |

2. Windows OS環境を利用する場合

2 - 1. Windows OS必須要件

| チェック内容 | | 結果[○ / ×] |
|-----------------|---|-----------|
| Windows OS環境の有無 | ○あり ×なし | |
| OS | ○以下のいずれかのOSが稼働すること。 ・Microsoft Windows 7 Professional / Ultimate / Enterprise (x86, x64) (SP1) ・Microsoft Windows 8.1 Pro / Enterprise (x86, x64) (SPなし) ・Microsoft Windows 10 Pro / Enterprise (x86, x64) (SPなし) ※ドメイン参加機能がない「Windows 7 Home Premium」「Windows 8」「Windows 8.1」「Windows RT」「Windows RT 8.1」には対応していません。 ※Windows 8.1 / 10 環境の場合は、デスクトップUIのみを対象とします。 ※統合管理ツール、およびクライアントアプリケーションのインストールは、Windows OSのみ対応します。 | |
| Webブラウザ | ○以下のいずれかのWebブラウザが稼働すること。 ・Internet Explorer 11 ・Microsoft Edge ・Google Chrome ※Internet Explorer 11は、Windows OSのデスクトップ版のみを対象とします。 ※eValue NS の認証が「統合Windows 認証」の環境では、Internet Explorer のみ動作し、その他のWebブラウザは動作しません。 ※Google ChromeとMicrosoft Edgeは、eValue NS 2nd Editionのみでご利用いただけます。 ※動作保証するGoogle Chromeのバージョン番号は、OSKのインターネットサイトにて公開しております。以下のURLにアクセスしてご確認ください。 http://www.kk-osk.co.jp/products/evalue_ns/system2.html | |
| ハードウェア | ○上記のOS、およびソフトウェアが動作するコンピュータ ○ディスプレイの解像度が、1024 × 768(96DPI)以上 | |

※ 「eValue NS」は、「eValue NS」および「eValue NS 2nd Edition」の総称です。
 ※ 「eValue」は、株式会社OSKの登録商標です。
 ※ その他、記載されている会社名および製品名は、それぞれ各社の証憑または登録商標です。

2-2. Internet Explorerの設定(インターネットオプション)

| | チェック内容 | 結果[○ / ×] |
|------------------------|--|--|
| Internet Explorer環境の有無 | ○あり ×なし | |
| インターネットオプション(全般) | デザイン - 言語ボタン - 言語の優先順位 | ○日本語 |
| | タブ - タブボタン - ポップアップの発生 | ○常に新しいウィンドウでポップアップを開く |
| インターネットオプション(セキュリティ) | セキュリティゾーン | ○ローカルイントラネット ※eValue NS のWebサーバーを追加する必要があります。 ※eValue NS(2nd Editionではない)をVistaクライアントでご利用の場合のみ、「信頼済みサイト」としてください。 |
| | 保護モードを有効にする | ○オフ |
| レベルのカスタマイズ | ActiveX コントロールとプラグインの実行 | ○有効にする |
| | ActiveX フィルターを有効にする ※IE9以上の場合 | ○無効にする |
| | ActiveX を警告なしで使用する事を承認済みのドメインにのみ許可する ※IE8以上の場合 | ○無効にする |
| | スクリプトを実行しても安全だとマークされていないActiveXコントロールの初期化とスクリプトの実行 ※環境により表示されない場合あり | ○無効にする |
| | スクリプトを実行しても安全だとマークされているActiveX コントロールのスクリプトの実行 ※環境により表示されない場合あり | ○有効にする |
| | 署名済みActiveXコントロールのダウンロード | ○ダイアログを表示する ※ワークフローのみご利用の場合、且つ統合管理ツール[ワークフロー] - [環境設定] - [申請フォームの表示設定] - [表示方法]にてモーダルで表示するを選択した場合は、「有効にする」に設定する必要があります。 |
| | アクティブスクリプト | ○有効にする |
| | User Data の常設 | ○有効にする |
| | ポップアップブロックの使用 | ○無効にする |
| | ユーザー認証 - ログオン (統合 Windows 認証の場合) | ○「イントラネットゾーンでのみ自動的にログオンする」、または「現在のユーザー名とパスワードで自動的にログオンする」 |
| 互換表示設定 | 互換表示に追加したWeb サイト | ○eValue NS のWeb サイトは指定しないでください。 |
| | イントラネットサイトを互換表示で表示する | ○オフ |
| ファイルページ設定 | 背景の色とイメージを印刷する | ○有効にする |

【注意事項】

- ・eValue NS 以外にイントラネットサイトでご利用のWeb サイトがある場合、「互換表示設定」-「互換表示に追加したWeb サイト」に個別に指定してください。
- ・互換表示設定がオンの場合は、統合管理ツールにてInternet Explorer 11(標準モード)で利用する設定がされていても、Internet Explorer7 互換表示で動作します。そのため、Internet Explorer 11(標準モード)のみご利用いただける機能は利用できません。

2-3. Internet Explorerの設定(その他の注意事項)

| チェック内容 | | 結果[○/×] |
|----------------------------------|--|---------|
| Internet Explorer環境の有無 | ○あり ×なし | |
| プロキシサーバー経由でのアクセス | ○不可 | |
| 拡大レベルの変更機能 | ○使用しないこと ※拡大レベルの変更機能を用いて、画面を拡大/縮小している状態では、正常動作いたしません。また、画面を拡大/縮小している状態では、一部描画が崩れる箇所があります。 | |
| 互換表示設定(IE7互換モード) | ○Ver5.A0以降、標準モード時は互換表示設定は解除してください。 ○Ver5.95以前は必須 | |
| イントラネットサイトを互換表示で表示する ※IE11の場合 | ○Ver5.A0以降、標準モード時は解除 ○Ver5.95以前は必須 | |
| 各種のツールバー | ○使用しないこと ※Webブラウザにアドオンする各種ツールバー(Googleツールバー、Yahoo!ツールバー等)には対応していません。 | |

2-4. ActiveX コントロールの配布(Internet Explorerを利用する場合)

| チェック内容 | | 結果[○/×] |
|---------------------|--|---------|
| ActiveX コントロールの使用有無 | ○あり ×なし | |
| ActiveX コントロールの配布方法 | ○以下のいずれかの方法で配布すること。 ・クライアント端末のAdministrators 権限により、Internet Explorer から自動的にダウンロードする。(各利用者が自身でダウンロードを実行) ・システム管理者がIntelliMirror の設定を行い、ActiveX コントロールを自動配布する。 | |

2-5. Microsoft Edgeの設定(Windows OS環境で利用)

| チェック内容 | | 結果[○/×] |
|---------------------|--|---------|
| Microsoft Edge環境の有無 | ○あり ×なし | |
| 設定 | 拡大(+/-による倍率変更) ○使用不可 | |
| 設定 - 詳細設定 | ポップアップをブロックする ○オフ | |
| | Cookie ○Cookie をブロックしない | |
| | Adobe Flash Player を使う *「ログオン時にFlash を使用する」選択時のみ ○オン | |
| その他の注意事項 | プロキシサーバー経由でのアクセス ○不可 | |
| | 設定 - 「読み取りビューのフォントサイズ」を「中」(既定)から変更 ○不可 | |
| | 設定 - 「コンテンツの同期」を設定すると、同じアカウントが設定されているブラウザの設定と同期される場合があります ブラウザ標準設定では、ファイルをローカル保存する際に『保存先選択ダイアログ』は表示されない(ブラウザで設定したダウンロードフォルダに保存されます) | |

2 - 6. Google Chromeの設定 (Windows OS環境で利用)

| チェック内容 | | 結果[○ / ×] |
|--------------------------|----------------------|---|
| Google Chrome環境の有無 | ○あり ×なし | |
| プライバシー - コンテンツの設定 | Cookie | ○ローカルへのデータ設定を許可する |
| | 画像 | ○すべての画像を表示する(推奨) |
| | JavaScript | ○すべてのサイトでJavaScriptの実行を許可する(推奨) |
| | プラグイン | ○重要なプラグインコンテンツを検出して実行する(推奨) |
| | ポップアップ | ○すべてのサイトのポップアップ表示を許可しない(推奨) ※[例外管理]にて、ホスト名のパターンに「http://(eValue NS がインストールされているサーバー名)」を指定する必要があります。 尚、分散構成の場合はすべてのサーバーを指定します。 |
| ウェブコンテンツ | フォントサイズ ページのズーム | ○中 ○100% |
| ウェブコンテンツ - フォントをカスタマイズする | 最小フォントサイズ エンコード | ○10 ○Unicode(UTF-8) |
| 言語 | 言語と入力の設定 | ○日本語を最優先 |
| | 母国語以外のページで翻訳ツールを表示する | ○オフ |
| その他の注意事項 | プロキシサーバー経由でのアクセス | ○不可 |
| | 試験運用機能による設定変更 | ○不可 |
| | 拡張機能 | ○使用不可(推奨) |
| | 印刷設定 | ○既定値のまま使用 |

3. Mac OS環境を利用する場合

3 - 1. Mac OS必須要件

| チェック内容 | | 結果[○ / ×] |
|-------------|--|-----------|
| Mac OS環境の有無 | ○あり ×なし | |
| OS | <ul style="list-style-type: none"> ・macOS Sierra (x64) ・OS X El Capitan (x64) ・OS X Yosemite (x64) <p>※統合管理ツール、およびクライアントアプリケーションのインストールが必要な機能はご利用いただけません。 ※eValue NS の認証が「統合Windows 認証」の環境では動作しません。</p> | |
| Webブラウザ | ○以下のいずれかのWebブラウザが稼働すること。 ・Apple Safari | |

3 - 2. Safariの環境設定 (Mac OS環境で利用)

| チェック内容 | | 結果[○ / ×] |
|----------------------|-------------------|---|
| Mac OS、且つSafari環境の有無 | | ○あり ×なし |
| セキュリティ | プラグインを有効にする | ○オン |
| | JavaScript を有効にする | ○オン |
| | ポップアップウィンドウを開かない | ○オフ |
| プライバシー | Cookie をブロック | ○知らないサイトや広告のみ 又は しない ※統合管理ツールの [共通設定] - [ログオン設定] - [シングルサインオン設定] にて、「シングルサインオンを行う」を選択している場合、シングルサインオンを有効にするためには、[しない] に設定してください。 |
| 表示 | デフォルトのエンコード | ○Unicode(UTF-8) |
| その他の注意事項 | プライベートブラウズ | ○オフ |

4. タブレット端末からパソコン向け画面機能を利用する場合

4 - 1. iPad必須要件 (iPadからパソコン向け画面機能を利用)

| チェック内容 | | 結果[○ / ×] |
|------------------------|---|-----------|
| iPadによるパソコン向け画面機能の使用有無 | | ○あり ×なし |
| OS | ○以下のいずれかのOSが稼働すること。 ・iOS 8.0 / 8.1 / 8.3 / 8.4 / 9.1 / 9.2 / 9.3 / 10.0 / 10.3 ※統合管理ツール、およびクライアントアプリケーションのインストールが必要な機能はご利用いただけません。 ※eValue NS の認証が「統合Windows 認証」の環境では動作しません。 | |
| Webブラウザ | ○iPad標準搭載のSafari ※「セキュアブラウザ for eValue NS」には対応していません。 | |
| ネットワーク要件 | ○iPad環境から直接、もしくはリモートアクセスサービス等でサーバーにアクセス可能なこと。 | |
| その他ソフトウェア要件 | ○ドキュメント管理のセキュアPDFを閲覧する場合は、上記に加えて、ハイパーギア社製アプリケーション「HGView」をインストールする。 | |

4 - 2. Safariの設定 (iPadからパソコン向け画面機能を利用)

| チェック内容 | | 結果[○ / ×] |
|---------------------------------|-------------------------------------|---------------------------|
| iPad、且つSafariによるパソコン向け画面機能の使用有無 | | ○あり ×なし |
| [設定] - [Safari] | Cookieを受け入れる (iOS6の場合) | ○訪問先のみ または 常に |
| | Cookie をブロック (iOS7の場合) | ○知らないサイトや広告のみ |
| | Cookie をブロック (iOS8, iOS9, iOS10の場合) | ○常に許可 または 訪問した Web サイトを許可 |
| | JavaScript (iOS6の場合) | ○オン |
| | [詳細] - [JavaScript] (iOS7, iOS8の場合) | ○オン |
| | ポップアップブロック | ○オフ |
| その他の注意事項 | プライベートブラウズ | ○オフ |

4 - 3. Android OSタブレット 必須要件 (Android OSタブレットからパソコン向け画面機能を利用)

| チェック内容 | | 結果[○ / ×] |
|--|--|-----------|
| Android OSタブレットによるパソコン向け画面機能の使用有無 <input type="radio"/> あり ×なし | | |
| OS | <input type="radio"/> 以下のいずれかのOSが稼働すること。 ・Android 5.0 / 5.1 / 6.0 ※統合管理ツール、およびクライアントアプリケーションのインストールが必要な機能はご利用いただけません。 ※eValue NS の認証が「統合Windows 認証」の環境では動作しません。 ※すべてのタブレット端末での動作検証は行っていないため、機種によっては正常に動作しない場合があります。 また、動作検証済み機種であっても設定やインストールされているアプリケーションに影響を受ける可能性があります。そのため、eValue NS体験版サイトをご用意していますので、ご検討の際には体験版サイトで動作確認をしてください。 ※Android OSスマートフォンではパソコン向け画面機能は利用できません。 | |
| Webブラウザ | <input type="radio"/> Google Chrome ※「セキュアブラウザ for eValue NS」には対応していません。 | |
| ネットワーク要件 | <input type="radio"/> Android OSタブレットより直接、もしくはリモートアクセスサービス等でサーバーにアクセス可能なこと。 | |

4 - 4. Google Chromeの設定 (Android OSタブレットでパソコン向け画面機能を利用)

| チェック内容 | | 結果[○ / ×] |
|--|-----------------|--|
| Android OSタブレット、且つGoogle Chromeによるパソコン向け画面機能の使用有無 <input type="radio"/> あり ×なし | | |
| コンテンツの設定 | Cookie の許可 | <input type="radio"/> ON |
| | JavaScript 有効化 | <input type="radio"/> ON |
| | ポップアップブロック | <input type="radio"/> OFF |
| ウェブサイト設定 | ポップアップブロックを許可する | <input type="radio"/> ON ※eValueNS のWebサーバーを許可に設定する必要があります。 |
| プライバシー | トラッキング拒否 | <input type="radio"/> OFF |

5. スマートフォン向けモバイルオプションを利用する場合

5 - 1. iPhone / iPad / Android OS端末 必須要件

| チェック内容 | | 結果[○ / ×] |
|----------------|--|-----------|
| モバイルオプションの使用有無 | ○あり ×なし | |
| OS | <p>○以下のいずれかのOSが稼働すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・iOS 8.0 / 8.1 / 8.3 / 8.4 / 9.1 / 9.2 / 9.3 / 10.0 / 10.3 ・Android 5.0 / 5.1 / 6.0 / 7.0 <p>※統合管理ツール、およびクライアントアプリケーションのインストールが必要な機能はご利用いただけません。</p> <p>※Android OS端末については、すべてのタブレット端末での動作検証は行っていないため、機種によっては正常に動作しない場合があります。また、動作検証済み機種であっても設定やインストールされているアプリケーションに影響を受ける可能性があります。そのため、体験サイトをご用意していますので、ご検討の際には体験サイトで動作確認をしてください。</p> | |
| Webブラウザ | <p>○以下のいずれかのWebブラウザが稼働すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・iPhone / iPad 標準搭載のSafari ・Google Chrome ・株式会社イノス製の専用ブラウザ「セキュアブラウザ for eValue NS」 <p>※マルチタスクには非対応です。(タスクの切り替えを行っても、切り替え前の状態に復元しません)</p> <p>※Android OS端末の場合は、MicroSDカードが未挿入の状態では、ファイルを参照することができない場合があります。</p> <p>※Android OS端末に標準搭載されているWebブラウザは要件の対象外です。</p> | |
| ネットワーク要件 | ○モバイル端末より直接、もしくはリモートアクセスサービス等で、eValue NS モバイルオプションサーバーにアクセス可能であること。 | |
| その他要件 | <p>○Wi-Fi、または3Gネットワークが利用可能なこと。</p> <p>○クライアントのブラウザ設定にてJavaScript及びCookieが有効になっていること。</p> <p>○閲覧可能なファイル形式は以下の通りですが、端末の仕様によって閲覧不可の場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DOC、DOCX、XLS、XLSX、PPT、PPTX、PDF、JPEG、JPG <p>○画像登録できるファイル形式は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JPG、JPEG | |

5 - 2. Safariの設定 (iPhoneを利用)

| チェック内容 | | 結果[○ / ×] |
|-----------------------------------|-------------------------------------|--------------------------|
| iPhone、且つSafariによるモバイルオプション機能の使用有 | ○あり ×なし | |
| [設定]-[safari]での設定 | Cookie をブロック (iOS7の場合) | ○知らないサイトや広告のみ |
| | Cookie をブロック (iOS8, iOS9, iOS10の場合) | ○常に許可 または訪問した Web サイトを許可 |
| | [詳細]-[JavaScript] | ○オン |
| その他の注意事項 | プライベートブラウズ | ○オフ |

6. 機能別の確認要件

6 - 1. クライアント端末で利用可能な機能

| チェック内容 | | 結果[○ / ×] |
|---------------------|---|-----------|
| ドキュメント管理 | | |
| セキュリティ機能 | | |
| 機能の使用有無 | ○あり ×なし | |
| ソフトウェア要件 | ○Adobe Acrobat Reader DC をインストールすること。 ○下記 URL に記載されている手順に従い、ブラウザのアドオンの管理にて「Adobe PDF Reader」を有効に設定すること。 http://helpx.adobe.com/jp/acrobat/using/display-pdf-browser-acrobat-xi.html | |
| ワークフロー | | |
| 申請フォームのPDF出力機能 | | |
| 機能の使用有無 | ○あり ×なし | |
| ソフトウェア要件 | ○Adobe Acrobat Reader DC をインストールすること。 ○下記 URL に記載されている手順に従い、ブラウザのアドオンの管理にて「Adobe PDF Reader」を有効に設定すること。 http://helpx.adobe.com/jp/acrobat/using/display-pdf-browser-acrobat-xi.html | |
| プロジェクトタスク管理(スケジューラ) | | |
| プロジェクトタスクのPDF出力機能 | | |
| 機能の使用有無 | ○あり ×なし | |
| ソフトウェア要件 | ○Adobe Acrobat Reader DC をインストールすること。 ○下記 URL に記載されている手順に従い、ブラウザのアドオンの管理にて「Adobe PDF Reader」を有効に設定すること。 http://helpx.adobe.com/jp/acrobat/using/display-pdf-browser-acrobat-xi.html | |

6 - 2. クライアント端末(Windows OS環境)にインストール可能なツール

| チェック内容 | | 結果[○ / ×] |
|-----------------|--|-----------|
| ドキュメント管理 | | |
| 一括印刷機能 | | |
| クライアント端末へインストール | ○あり ×なし | |
| ソフトウェア要件 | ○PDF ファイルを一括印刷の対象ファイルとする場合は、Adobe Reader DCをインストールすること。 | |
| アクセス権 | ○インストールおよびアップデートインストール時は、クライアント端末の管理者権限が必要。 | |
| CADビューワ オプション | | |
| クライアント端末へインストール | ○あり ×なし ※通常版もしくはWeb認証版をインストールします。 | |
| ソフトウェア要件 | ○Microsoft Visual C++ 2010 x86 Redistributableをインストールすること。 ○CAD ビューワオプションで扱えるデータをPDF 形式のファイルに保存するには、Microsoft .NET Framework 2.0 以上をインストールすること。 | |
| アクセス権 | ○インストールおよびアップデートインストール時は、クライアント端末の管理者権限が必要。 | |
| ワークフロー | | |
| 申請フォームエディタ | | |
| クライアント端末へインストール | ○あり ×なし | |
| プレミアムモードの使用有無 | ○あり ×なし | |
| ソフトウェア要件 | ○Microsoft .NET Framework 3.5 SP1をインストールすること。 ○プレミアムモードを使用する場合は、Microsoft Visual Basic Power Packs 1.2 をインストールすること。 | |
| 汎用外部出力ツール | | |
| クライアント端末へインストール | ○あり ×なし | |
| ソフトウェア要件 | ○Microsoft .NET Framework 3.5 SP1をインストールすること。 | |
| ルートチェッカー | | |
| クライアント端末へインストール | ○あり ×なし | |
| ソフトウェア要件 | ○Microsoft .NET Framework 3.5 SP1をインストールすること。 | |